

小平国際学生宿舎寮生・地域交流実行委員会

事業名	ISDAKポイントカードプロジェクト						
実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日(助成金対象期間 平成27年5月～平成28年1月)						
場所	一橋学園駅周辺8商店会						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	123	70	32	63	2	36	326名

<実施内容>

小平市学園西町には一橋大学など国立4大学の留学生が入寮する小平国際学生宿舎 International Student Dormitory Association of Kodaira (ISDAK) があります。将来を担う世界各地からの留学生と地域との結びつきを深めることにより、留学生に対しては地域への理解を深めてもらい、他方、地域住民には多文化共生社会の実現に寄与してもらうことを狙いとして、このプロジェクトを立ち上げました。



春季商店街ツアーの歓迎交流会で記念撮影

1. スタンプラリー

一橋学園駅周辺の8つの商店会からこのプロジェクトに協力していただける加盟店を募り、加盟店で買い物をするとカードにスタンプ1個を捺してもらうこととしました。スタンプ3個でスタンプカードと参加賞を交換し、夏と冬の年2回、景品の抽選会を行いました。景品は1等から3等までのクオカードを用意し、地元商店街での購買促進とささやかな留学生支援の効果を期待しています。

2. 商店街ツアー

4月と10月に新寮生が入寮しますので、その時期に合わせて、ボランティアが商店街を案内する商店街ツアーを実施します。平成27年度は、春季は6月13日(土)に行い、19名の留学生が参加し、食べ歩き・飲み歩きを楽しむとともにお店のなかを案内してもらいました。ツアー終了後は、学園西町地域センターで市長も交えて歓迎交流会を実施しました。秋季は11月14日(土)に実施し、留学生33名が参加。商店街を回った後、産業まつり会場に行き、議長・商工会長による歓迎式に臨み、その後各自、産業まつりを楽しんでもらいました。

3. 餅つき大会

1月9日(土)に町会と小平青年会議所の方々にも手伝ってもらって地域センターで実施。餅つきと着付けを体験し、餅を味わった後は国際交流協会の新年会に参加し、より多くの市民と交流を深めました。

<参加者からのコメント>

ヒラーさん(オーストリア)/Ms.Hiller Mena

On November 14th I was lucky enough to attend a shopping tour thanks to the KIFA. I found it very interesting to get a closer look at my neighbourhood, to see what really is behind these shop doors I pass almost every day on my way to school, but never actually check what they might offer. I was very happy to learn that there is a nice coffehouse just around the corner - a place i would have never found without the tour, because it is hard to find being located on the second floor. Also, we got the chance to taste some tasty blueberry wine, dango and - my favourite part - to get a glimpse of a workshop where tofu is made. I would have loved to get to know more about the producing of tofu - maybe next year?

I hope you like it! And thank you again for all the great service KIFA is offering me. You are contributing so much to my stay in Japan.

崔 広紅さん(中国)/Ms.Cui Guanghong

中国からまいりました留学生の崔広紅と申します。1月9日には、KIFAで、我々留学生のために餅つき大会及び新年交流会を開催していただき、誠にありがとうございました。イベントに参加できて本当に嬉しかったです。

餅つきは日本の古くからの伝統行事ですが、それを直に体験させていただきました。餅をつく時、それにあわせて、皆様が一斉に「よいしょ～」と声をかけてくれました。その時の胸の高まりは今も覚えています。餅つきは一人でできるものではありません。餅米蒸しから出来上がりまでのプロセス全体は、みんなの協力が必要となっています。スタッフとボランティアの方々の助け合う姿とその笑顔を見ると、心が温かくなり、感動しました。また、つきたての餅米で作ったいろいろな味のお餅は美味しかったです。

新年交流会には、多くの日本の方もおいでになり、私たち留学生と交流しました。彩りの美しい日本料理、美味しい地酒を味わいながら、衣食住から文化、歴史まで幅広い話題で、話が弾みました。その時、昔のイベントで一回だけ会って、また会いたいと思っていた連絡先がわからない人とも再び会うことができ、嬉しかったです。縁や絆、また相互理解などはこのようなイベントがあるからこそ築かれたのではないかと思います。

このようなイベントは私たち留学生にとっては非常にありがたいです。大切な思い出になりました。改めて、スタッフの方々、援助していただいた方々、ボランティアの方々に心を込めて感謝の意を表します。誠にありがとうございました。